

# 新規需要の創出に向けたオリジナル花きの育成

- 実施期間：令和2～6年度
- 担当部署：花き部
- 区分：地域密着型研究

## ○研究内容

本県は、平坦部を中心に大規模な温室による鉢花や切バラ等が栽培され、とりわけ鉢物の生産量は全国上位に位置する主要な産地です。しかし、景気回復の遅れや消費者ニーズの減退により花き需要は落ち込み、生産コストの増大もあって、本県の栽培面積及び生産額は減少しており、経営力強化が喫緊の課題となっています。

流行の変遷が激しい花きでは、常に新しい品種・品目が求められ、産地は消費ニーズに対応した差別化品目の導入と商品提供に努力しており、高単価が期待でき、新たなニーズも創出できる新品目への期待は大きくなっています。

そこで、本県の花き生産の維持・競争力強化を図るため、本県の特徴である少量多品目生産に適した新品种・品目を育成します。

- 1 切りバラ：珍しい花型・花色、高収量性、耐病性等を有する切花品種を育成



有望系統「17-41」

例：切バラ有望系統「17-57」  
○黄色の中輪・剣弁高芯咲き。  
○スプレー品種の中では大輪、  
花弁が多く、日持ちも良い。



有望系統「17-57」

- 2 フランネルフラワー：緑花色・濃黄色の切花用品種、小輪多花性の鉢花用品種等を育成



切花用緑花弁系統



切花用濃黄色系統



小輪多花有望系統

- 3 ローダンセマム：黄色等の新規花色品種、大輪半八重等の新規花形品種の育成



クレールピーチ



選抜系統「R28-13」



選抜系統「R29-9」